

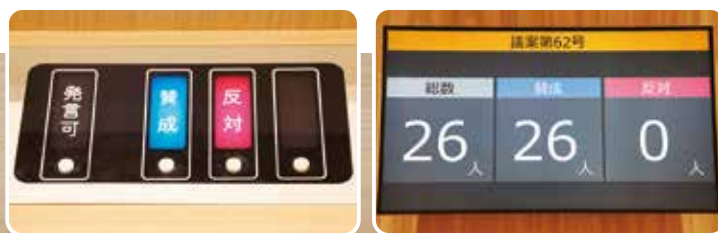
# 日立市議会 だより

No.  
**202**  
H29.10.20

## 第3回(9月)定例会 9/7~9/29

平成29年第3回定例会では、民間事業者が整備を行う認知症高齢者グループホームの施設整備に対する補助や、大みか町6丁目交差点の渋滞緩和を図るため山側道路の右折レーン追加工事に要する経費などを計上した一般会計補正予算、久慈小学校校舎・屋内運動場改築工事の請負契約の締結、平成28年度決算の認定、日立市監査委員の人事案件など18件の議案を審査し、いずれも原案のとおり認めました。

9面には議場がある7階フロアの  
案内図を掲載しています



▲木をふんだんに使った明るい議場

写真上左：議員席に設置された電子採決システム  
写真上右：採決結果を表示する壁面モニター

### 新庁舎で初めての議会を開催しました

新しい議場には、電子採決システムや壁面モニターなど様々な設備を導入しています。

傍聴席は議員席と同じ床面につくられており、議会の雰囲気を感じることができます。本会議（一般質問）の様子はケーブルテレビやインターネットでもご覧いただけますが、目の前で議員と市の執行部が議論を交わす雰囲気は独特です。私たちの生活に直結する課題がどのように議論されているか、ぜひ傍聴席をご覧ください。



第3回

# 定例会

9/7~9/29

## 委員会審査の結果

常任委員会・特別委員会で、  
議案などを専門的かつ  
能率的に審査しました。

議案2件（補正予算1件、契約1件）を審査し、いずれの議案も原案を認めましたが、1件の要望を行いました。

### 総務産業委員会

#### 〔要望〕

○東日本大震災における東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故により、鶴来来の湯十王は風評

◆審査した主な議案  
▼平成29年度一般会計補正予算  
〈歳入は、民間事業者が行う認知症高齢者グループホームの新規整備に対する県補助の計上など。歳出は、平成28年度一般会計繰越金の一部を公共施設等総合管理基金に積み立てるほか、猟期外のイノシシの緊急捕獲及び農地・家庭菜園への侵入防止施設（電気柵等）設置に対する補助の計上など〉



天然温泉施設「鶴来来の湯十王」

### 教育福祉委員会

議案7件（補正予算2件、契約3件、その他2件）を審査し、いずれの議案も原案を認めました。

#### ◆審査した主な議案

▼平成29年度一般会計補正予算

被害を受け、今回の補正で賠償金が支払われているが、まだ請求額と受取額に大きな差があるため、仲裁機関へ申し立てるなど解決に向けて積極的に取り組んでほしい。  
▼はちゅーるい館整備事業建築工事の請負契約の締結  
〈完成の期限を平成30年9月28日として日立土木・益三・藤和特定建設工事共同企業体と契約〉

## 提出された議案等の一覧

### 平成29年9月7日提出

- 議案第49号 平成29年度日立市一般会計補正予算（第2号）  
議案第50号 平成29年度日立市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）  
議案第51号 平成29年度日立市水道事業会計補正予算（第1号）  
議案第52号 平成29年度日立市下水道事業会計補正予算（第1号）  
議案第53号 はちゅーるい館整備事業建築工事の請負契約の締結について  
議案第54号 久慈小学校校舎・屋内運動場改築事業校舎改築建築主体工事の請負契約の締結について  
議案第55号 久慈小学校校舎・屋内運動場改築事業校舎改築電気設備工事の請負契約の締結について  
議案第56号 久慈小学校校舎・屋内運動場改築事業校舎改築機械設備工事の請負契約の締結について  
議案第57号 平成28年度決算の認定について  
議案第58号 平成28年度日立市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について  
議案第59号 平成28年度日立市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について  
議案第60号 土地の買入れについて  
議案第61号 土地の買入れについて  
議案第62号 日立市監査委員選任の同意を求めることについて  
報告第11号 平成28年度日立市一般会計継続費精算について  
報告第12号 平成28年度日立市基金運用状況について  
報告第13号 平成28年度健全化判断比率について  
報告第14号 平成28年度資金不足比率について  
報告第15号 専決処分について（損害賠償の額を定めることについて）  
報告第16号 専決処分について（損害賠償の額を定めることについて）  
報告第17号 専決処分について（損害賠償の額を定めることについて）  
報告第18号 公益財団法人日立市公園協会に係る平成28年度の経営状況に関する説明書（決算に関する書類）提出について  
報告第19号 日立市土地開発公社に係る平成28年度の経営状況に関する説明書（決算に関する書類）提出について  
報告第20号 公益財団法人日立市民科学文化財団に係る平成28年度の経営状況に関する説明書（決算に関する書類）提出について  
報告第21号 公益財団法人日立地区産業支援センターに係る平成28年度の経営状況に関する説明書（決算に関する書類）提出について

### 平成29年9月11日提出

- 議案第63号 日立市教育委員会委員任命の同意を求めることについて  
議案第64号 日立市公平委員会委員選任の同意を求めることについて  
議案第65号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

### 平成29年9月29日提出

- 議案第66号 教育予算の拡充を求める意見書の提出について

《市内で2ヶ所目となる適応指導教室の開設及び小中高校生を対象とした学習室の新設など、教育プラザを新たな子供の居場所として整備するための経費、折笠スポーツ広場テニスコートの人工芝生全面張り替えに係る経費の計上など》



人工芝生が張り替えられる折笠スポーツ広場のテニスコート

▼久慈小学校校舎・屋内運動場改築事業校舎改築建築主体工事の請負契約の締結  
 《完成の期限を平成31年2月15日として岡部・日立土木・久下谷特定建設工事共同企業体と契約》

環境建設委員会

議案5件（補正予算3件、その他2件）を審査し、いずれの議案も原案を認めました。

◇審査した主な議案

▼平成29年度一般会計補正予算  
 《交流センター等の管理を平成30

年度まで指定管理者に委託するための債務負担行為の追加や、新エネルギー普及促進を目的とする定置用リチウムイオン蓄電システムの設置費補助の増額、東滑川海浜緑地再整備のための設計に係る経費の計上など》



遊歩道などの再整備が望まれる東滑川海浜緑地

▼平成29年度水道事業会計補正予算及び下水道事業会計補正予算  
 《日立市上下水道事業経営戦略を策定するにあたり、プロポーザル方式でコンサルタントを選定するための債務負担行為の設定》

幹線道路整備促進特別委員会

議案1件（補正予算1件）を審査し、原案を認めました。

◇審査した議案

▼平成29年度一般会計補正予算  
 《大みか町6丁目交差点の渋滞緩和を目的とする山側道路の右折レーン追加に係る工事請負費の計上》

決算審査特別委員会

（平成29年9月13日設置）  
 委員長 高安 博明  
 副委員長 今野 幸樹  
 委員 下山田 幹子  
 〃 瀬谷 幸伸  
 〃 塚田 明人  
 〃 館野 清道  
 〃 伊藤 智毅  
 〃 白土仙三郎

平成28年度決算について審査し、7件の要望を付した上で、原案を認めました。

【要望】

- ①本市の抱える課題解決に向けた基金の活用について
- ②防災体制の更なる強化について
- ③地域活動拠点施設である交流センターの柔軟な運営と計画的な施設改修等について
- ④児童クラブの充実に向けた取組について
- ⑤定住促進に向けた住政策の推進について
- ⑥日立地区産業支援センターの幅広い分野への支援体制整備について
- ⑦将来を見据えた科学学習推進事業への取組について

新庁舎建設特別委員会

本委員会は平成23年12月に設置され、新庁舎の建設に関する広範かつ多岐にわたる課題について、慎重

に調査・検討を行ってきました。本年7月に新庁舎執務棟が供用を開始し、東日本大震災で損なわれた行政機能の回復とともに、分散していた窓口の集約やバリアフリーへの対応など旧庁舎が抱えていた課題が克服されたことを受けて、今定例会をもって委員会を終息することに決定しました。

人事案件

- ◇日立市監査委員選任に同意 岡部 和彦氏
- ◇日立市教育委員会委員任命に同意 土屋 静治氏
- ◇日立市公平委員会委員選任に同意 會澤 克男氏
- ◇人権擁護委員候補者の推薦に同意 鈴木 明子氏

請願・陳情の審査結果

- 採択
- ◇教育予算の拡充を求める請願

意見書

今定例会で可決した次の意見書を国に提出しました。

教育予算の拡充を求める意見書

◇内容 地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるようにするため、教育予算の拡充を求める。

◇提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣

# 一般質問

一般質問とは、議案に関係なく市政全般について、市長など執行部の考え、方針などを聞くことです。9月定例会では、13人の議員が9月11日・12日に一般質問を行いました。その質問と答弁を要約して、一部を掲載いたします。なお、掲載は抽選により決定した発言順としています。

日立市議会では、3人以上の議員で会派を結成できるようになっており、議会日よりでは、3人未満の場合は、無会派と表示しています。

## 大曾根勝正 議員

(無会派)

### 認知症の早期発見、早期治療

**議員** 認知症高齢者の支援に当たっては、早期の発見、治療が大切であるが、日常生活の実態等を確認する基本チェックリストの活用や、介護保険申請受付などの具体的な体制と支援内容について伺いたい。

### 保健福祉部長

各地域包括支援センターや関係各課が本人の状態や希望するサービスを迅速に確認するため、本市が独自に作成した窓口確認票やさらに詳細な身体状況などを把握するためのチェックリストを使って、本人の日常生活や体の状態、認知機能に

関する聞き取り調査を丁寧に行い、適切な支援につなげている。

その中で、認知症と思われる症状が見られ、介護保険の申請が必要と思われる場合には迅速な認定申請につなげるよう、新庁舎移転後に介護保険課と高齢福祉課が隣接した窓口となったこともいかしながら、より一体的な対応に取り組んでいる。

また、これらの窓口対応と併せて、平成27年度からは、高齢福祉課内の地域包括支援センターに医療や福祉の専門職で構成される認知症初期集中支援チームを設置し、認知症サポート医と連携を図りながら、様々な相談に応じている。

## 高安博明 議員

(民主クラブ)

### 将来を見据えた

### 路線バスへの支援

**議員** 利用者数の減少により、路線バス事業者の経営環境は大変厳しい状況にある。路線バスの維持、存続には車両更新費用や路線運行への補助など更なる支援が必要と考えるが、路線バス事業に対する具体的な支援策について、執行部の見解を伺いたい。

### 副市長

市としても買物や通院など、市民の日常生活に不可欠なバス路線を維持するため、運行経費の一部を補助しているほか、バリアフリー化を推進するためのノンステップバ



山側住宅団地を運行する路線バス（西成沢町）

スの購入費や停留所整備費の一部を補助するなど、利用環境を改善する取組への支援を行っている。

また、バス事業者の経営環境の改善を支援する取組の一環として、運転手不足の解消に向けて国と連携した自動運転システムによるバスの実証運行や、女性を対象とした大型二種免許取得支援にも取り組む予定である。

今後は、自家用車を保有していない市民の移動手段の確保といった市が抱える課題の解決を図りながら、間接的にバス事業者の支援にもつながるような手法について検討していく。

## 小林真美子 議員

(無会派)

### 戸別受信機の更新

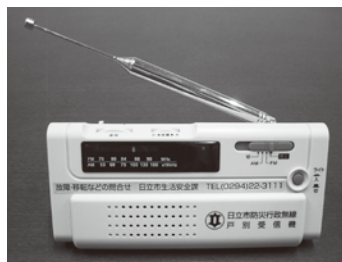
**議員** 戸別受信機は市内全地域に

配備されているが、南部地区については配備から10年以上経過して古くなっている。南部地区の戸別受信機の更新について、執行部の見解を伺いたい。

### 総務部長

防災行政無線の戸別受信機は、JCO東海事業所の臨界事故を契機として平成12年度から27年度で配備したが、初期のものは使用開始から今年で17年が経過している。

当初は、東海第二発電所からおおむね10キロメートル以内の地区に配備したが、平成21年度からは林野火災や津波災害にも対応できるよう、簡易型戸別受信機の市内全戸配備を開始し、平成25年度までに完了した。



災害時の情報などを知らせる簡易型戸別受信機

が終了していることから、平成27年度からは簡易型戸別受信機と交換している。

## 白石 敦 議員

(民主クラブ)

### 池の川処理場屋上施設を

### 活用した魅力づくり

**議員** 市民運動公園に隣接する池の川処理場の屋上施設にアスレチック



池の川処理場屋上施設にある親水公園

ク遊具等を設置して、親水公園と一体的に再整備し、案内板を設置することで、子育て世帯など幅広い年齢層の市民が日常的に楽しめる魅力あるエリアになると考えるが、執行部の見解を伺いたい。

**教育部長** 池の川処理場の屋上公園は、下水処理施設を覆う平らな屋根を活用し、施設のイメージアップと市民の憩いの場として昭和54年に供用を開始したが、現在では全体的に老朽化が目立つ状況にある。その中でもテニスコートは、池の川処理場の耐震診断の結果や設備の劣化を受け、平成26年3月から使用を休止している。

今後、日常的に親子で楽しめるようにアスレチック遊具等を設置し、親水公園と一体的に整備することは、

市民運動公園と連携した新たな魅力づくりにつながるものと考えてるので、グラウンドゴルフなど他のスポーツ施設としての活用や、遊具のある公園などスポーツ以外の施設としての活用なども念頭に置き、案内板の設置とともに、本年度改定予定のスポーツ振興計画の中で考え方を整理していきたい。

**瀬谷幸伸 議員**

(日立市政クラブ)

**まちづくりにおける現状と課題**

**議員** コンパクトシティ化の推進には、特色ある拠点整備が必要不可欠であるが、今後のまちづくりにおいて、改定作業中の都市計画マスタープランの実態調査で浮かび上がったきた本市を取り巻く環境の変化、今後の予想及び課題の分析について、執行部の見解を伺いたい。

**副市長** 平成12年に策定した日立市都市計画マスタープランでは、平成32年の目標人口を21万人と予測したが、現在の本市の人口は約18万1000人である。今後は、65歳以上の高齢者の割合が増加する一方、生産年齢人口は約半数になるなど年齢構成が大きく変化すると考えられることから、買物や医療等の各種サービス水準の低下などが懸念される。

このような課題に対処するため、本市の実態に即した新たな都市計画マスタープランを策定することとし、

本市の現況と都市計画上の課題をより正確に把握する必要があることから、昨年度から、人口動態や土地利用についての調査と分析を実施している。

この調査により、日立駅周辺地区や山側住宅団地において、人口減少がより進行していることが改めて確認された。日立駅周辺地区においては、低・未利用地の有効活用などによるにぎわいの創出を、山側住宅団地では、空き家の利活用による若年層を中心とした定住促進や空き地の居住用途以外の利用の可能性などについて検討していく。

**伊藤智毅 議員**

(ひたち未来)

**東海第二原発事故時の広域避難**

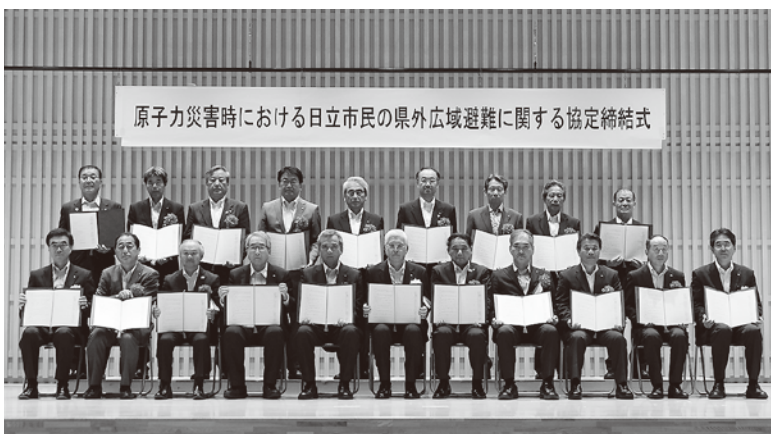
**議員** 去る8月3日に避難先となる福島県内の17市町村との協定が締結されたが、広域避難における日立市、受入れ市町村、学区コミュニティ、市民のそれぞれの役割をどのように整理するのか伺いたい。

**副市長** 広域避難の際に、本市は避難誘導や広報活動などに取り組み、受入れ市町村では協定に基づいて、避難中継所及び避難所の開設と運営を行う。また、学区コミュニティ及び市民には、落ち着いて行動することや要配慮者の支援、さらには、避難所生活におけるコミュニティの維持が図られるよう協力をお願いした

い。今後は、避難先の市町村と詳細な協議をする中で、学区コミュニティのリーダーなどからの意見についても反映していきたい。

**議員** 広域避難計画策定は今年度内に完了するのか。また、福島県と茨城県で同時に原発事故が起こった場合の避難計画についてはどのような考えているのか伺いたい。

**副市長** 年内を目的に計画の素案をまとめ、住民説明を行った上で、今年度中の策定を目指していく。原子力災害対策において複合災害の想定は不可欠であると認識しているが、まずは東海第二発電所の単独事故を



避難先となる福島県内の17市町村と協定を締結 (平成29年8月)

想定した計画の策定を進め、その後様々な事象を想定した避難計画へのステップアップを段階的に進めていきたい。

## 石井仁志 議員

(ひたち未来)

### 防犯灯の公的支援の方向性

**議員** 地域の安全安心のために町内会などが自主的に設置した防犯灯は、会員数の減少により維持管理が大きな負担となっている。本市が考とすべき先進自治体の取組内容を伺いたい。

**総務部長** 県内では32市のうち、19市で行政が防犯灯を設置しており、本市を含む13市は、町内会などが設置し管理を行っている。

先進事例として、帯広市では、市内の町内会連合会がリース方式のLED防犯灯を導入し、そのリース料金全額と、電気料金の60%相当額を交付している。

また、横浜市では、防犯灯のLED化を推進し、切替後は順次市の所有に移行する取組を進めるとともに、防犯灯の設置基準を制定し、その中に町内会などの役割を明記している。これにより、町内会などは、故障連絡などの日常の見守りや新設撤去申請などを担い、市は、維持管理と併せて、優先度の高いものを厳選して施工するという役割分担が有効に機能している。

## 添田絹代 議員

(公明党)

### 移動図書館「たかすず号」の今後の方向性

**議員** 昭和41年に運行を開始してから本年度50周年を迎えた移動図書館「たかすず号」は、今後の少子高齢化社会において、子育て支援のほか、移動が困難な高齢者への支援としての役割も担ってくる。車両の更新を含めた今後の方向性を伺いたい。



幅広い年齢層の方が利用している「たかすず号」

**教育部長** 「たかすず号」の利用者が増えていることから、今後も運行を継続し、更なる利用者拡大に努めていきたい。

また、幼児教育施設や高齢者施設などの巡回施設の拡大を図るためには車両の更新が必要と考えている。

現在の車両には昇降リフトが備わっておらず、高齢者施設などを巡回した際に車いすの利用者が車両の中に入って本を選ぶことができないことから、利用者の使いやすさに配慮しながら検討していきたい。

## 永山堯康 議員

(ひたち未来)

### 旧滑川処理場の跡地活用

**議員** 東京ドームに相当する面積を有する旧滑川処理場跡地とその周辺の利活用について、これまでの検討の経過とその方向性について伺いたい。

**副市長** 旧滑川処理場跡地一帯の土地の有効利用については、広場などとして一体的な利用を図ることとし、施設解体を進めながら整備を行うという方向性を定めてきた。

平成27年度からは、旧滑川処理場については生活環境部が、コンポストプラントについては企業局が、それぞれ既存建造物や設備の解体撤去について、3ヶ年の年次計画で進めている。

こうした取組の進捗を踏まえ、本年3月に策定した日立市総合計画後期基本計画では、施設解体後の土地の活用等を図るため、旧滑川処理場跡地等活用検討事業を位置付け、本年6月には、市長公室、都市建設部、生活環境部及び企業局の各関係部課所が連携し、土地に関する経緯や現

状等の情報共有を図りながら、跡地活用の具体化に向けた取組をスタートさせたところである。

当面は、施設を所管する関係部課所において、活用検討の基本となる土地の権利や形質等の状況を把握する調査を行い、その結果を踏まえ、周辺の公共施設の整備状況なども勘案しながら、市民の期待に応えられるよう、幅広い視点から検討していきたい。

## 下山田幹子 議員

(公明党)

### 日立さくらロードレースへの車いすの部の導入

**議員** 全国には車いす単独のマラソン大会のほかに、市民マラソンの



毎年多くの方が参加する日立さくらロードレース

種目に車いすの部を設けている大会がある。日立さくらロードレースに車いすの部を創設できないか、執行部の見解を伺いたい。

**教育部長** 車いすのフルマラソンはパラリンピックの正式種目であり、県内でも土浦市、坂東市、牛久市の大会で車いすの部を設けているなど全国各地で開催されている。

日立さくらロードレースにおいては、コースのアップダウンが大きいことや交通規制の時間が限られる中で、車いすのランナーが一般のランナーと交差しないようにスケジュールを調整することが難しいなどの課題がある。

大会の運営に当たっては安全を第一に考える必要があるが、今後は、車いすマラソンを開催するための条件、競技人口、参加ニーズの有無など、開催地や競技団体等に聞き取りを行い、実施の可能性について調査・研究していく。

**三代勝也 議員**

(公明党)

**通学路の安全確保**

**議員** 区域を指定して自動車の速度を時速30キロメートルに制限する「ゾーン30」を通学路に適用するとともに、視覚に訴えるペイントを道路に施してドライバーへ注意を促すことが有効であると考えているが、執行部の所見を伺いたい。



運転手に注意を促す路面標示 (大みか町)

**都市建設部長** 「ゾーン30」の取組は児童生徒の安全確保に有効な手段の一つであるが、その指定は公安委員会が行うもので、住民の合意形成が必要であることなどから、全ての通学路を指定することは難しい状況である。

これまでの市の対策としては、歩車道分離による歩行空間の確保や、グリーンラインなどの路面表示による注意喚起を行ってきたところである。今後は、規制速度を認識させる路面表示などに加え、ペイントで道路に突起物があるように見せるイメージハンブや車道幅員を狭くすることで速度抑制を図るなど、地域の交通状況に合った対策を関係機関と連携して行い、通学路における交通安全の確保に努めていきたい。

**薄井五月 議員**

(公明党)

**フードバンクの取組**

**議員** フードバンクの取組は、食べられる状態の食品が捨てられる「食品ロス」の削減と、食べ物に困っている生活困窮者への支援につながることを考える。このような取組の需要とフードバンクの実施について、執行部の見解を伺いたい。

**保健福祉部長** フードバンクとは、安全に食べられるのに捨てられてしまう食品を事業者や家庭からの寄贈によつて収集し、福祉施設や団体、生活困窮世帯などへ無償で提供する活動であるが、その需要が市内でどの程度あるのか、具体的に把握することは大変難しい状況である。しかし、現在市内で展開していることも食堂では、市が食材費などを補助しており、直接食材の提供を受けることができれば運営者の負担軽減につながるものと考えられ、ある程度の需要はあると認識している。

フードバンクの実施については、牛久市に拠点を置くNPO法人フードバンク茨城を始めとする関係機関と連携し、取り組んでいく方向で前向きに検討していきたい。

**今野幸樹 議員**

(日立市政クラブ)

**医師・看護師確保に向けた取組**

**議員** 将来、市内医療機関で働く医師・看護師の確保を考慮した児童生徒への意識付けやきっかけづくりの継続的な取組が有効であると考えているが、執行部の考えを伺いたい。

**保健福祉部長** 医師や看護師の確保は本市の喫緊の課題であり、子供たちに医療や看護の仕事に興味を持ってもらえる機会を提供していくことは大変重要であると考えている。本市では、中学2年生を対象に実施している社会体験事業の一環として、市内医療機関の協力を得て、医療や看護を体験する場を提供している。

今後も、市医師会や県看護協会などと連携を図り、市内小・中・高校生に医療や看護職の魅力を伝える出前講座の実施や、身近な場所で医療や看護を体験できる機会を設けるなど、具体的な方策について積極的に取り組んでいきたい。



市内の医療機関で職場体験する中学生

# 議案質疑

議案質疑とは、提案された議案等（2面に掲載）に対して、疑問点や不明確な点などを執行部に聞くことです。

9月定例会では、3人の議員が9月13日に議案質疑を行いました。その質問と答弁を要約して、一部を掲載いたします。

## 一般会計補正予算 一 保育体制強化事業費

**議員** 保育士資格を必要としない業務を行う保育支援者を雇用する本事業の概要と効果について伺いたい。

**保健福祉部長**

本事業は、県の補助事業を活用し、私立の保育園及び認定こども園に対して、保育士資格を必要としない業務、具体的には保育設備

や遊具などの消毒、清掃、給食や寝具の準備・後片付けなどを行う保育支援者を雇用するための費用の一部を補助するものである。補助基準額は、1施設当たり年間108万円、補助対象は、市内の私立保育園7園、私立認定こども園9園である。

事業の効果としては、子育て経験

者などの多様な人材を活用することで、保育士の業務負担を軽減するとともに、保育士が働きやすい職場環境を整備し、就労の継続及び離職の防止につなげたいと考えている。



## 一般会計補正予算 二 農業振興事業費

**議員** イノシシに関する目撃情報と対策要望等の件数、実際に捕獲、処分した件数はどのような状況にあるのか。また、今回の補正の目的と内容、農業等に従事している市民に対する総合的なイノシシ対策について伺いたい。

**産業経済部長**

平成28年度のイノシシの出没通報は215件、年間捕獲数は564頭であった。今年度は

8月末までに72頭を捕獲している。

今回の補正予算では、県が平成29年度に新設した鳥獣被害防止総合対策事業を活用して、二つの補助制度を創設するために必要な経費を計上した。

一つ目は、イノシシの緊急捕獲に対して、国から支給されるイノシシ一頭当たり8000円の処分費用に、県と市で3000円ずつ加算し、一頭当たり合計で1万4000円とするものである。

二つ目は、農地や家庭菜園にイノシシの侵入を防止する電気柵などの設置を行った市民に資材購入費用の3分の2を補助するもので、一件当たりの補助上限額は6万円である。

侵入防止柵設置に対する補助制度の普及促進を図るため、市報などで



市内で捕獲されたイノシシ

広く周知するとともに、J A常陸の協力を得ながら農業従事者に対して個別に情報を提供するなど、補助制度が有効に活用されるようサポートしていきたいと考えている。

## 一般会計補正予算 部分林立木売却

**議員** 本事業収入の経緯、今後の収入の見込み、収入の用途について伺いたい。

**財政部長** 部分林契約とは、国有地に、自治体などが造林者として植林したスギ・ヒノキについて、国が維持管理を行い、伐採後の販売代金を造林者と国が一定の割合で配分する契約である。

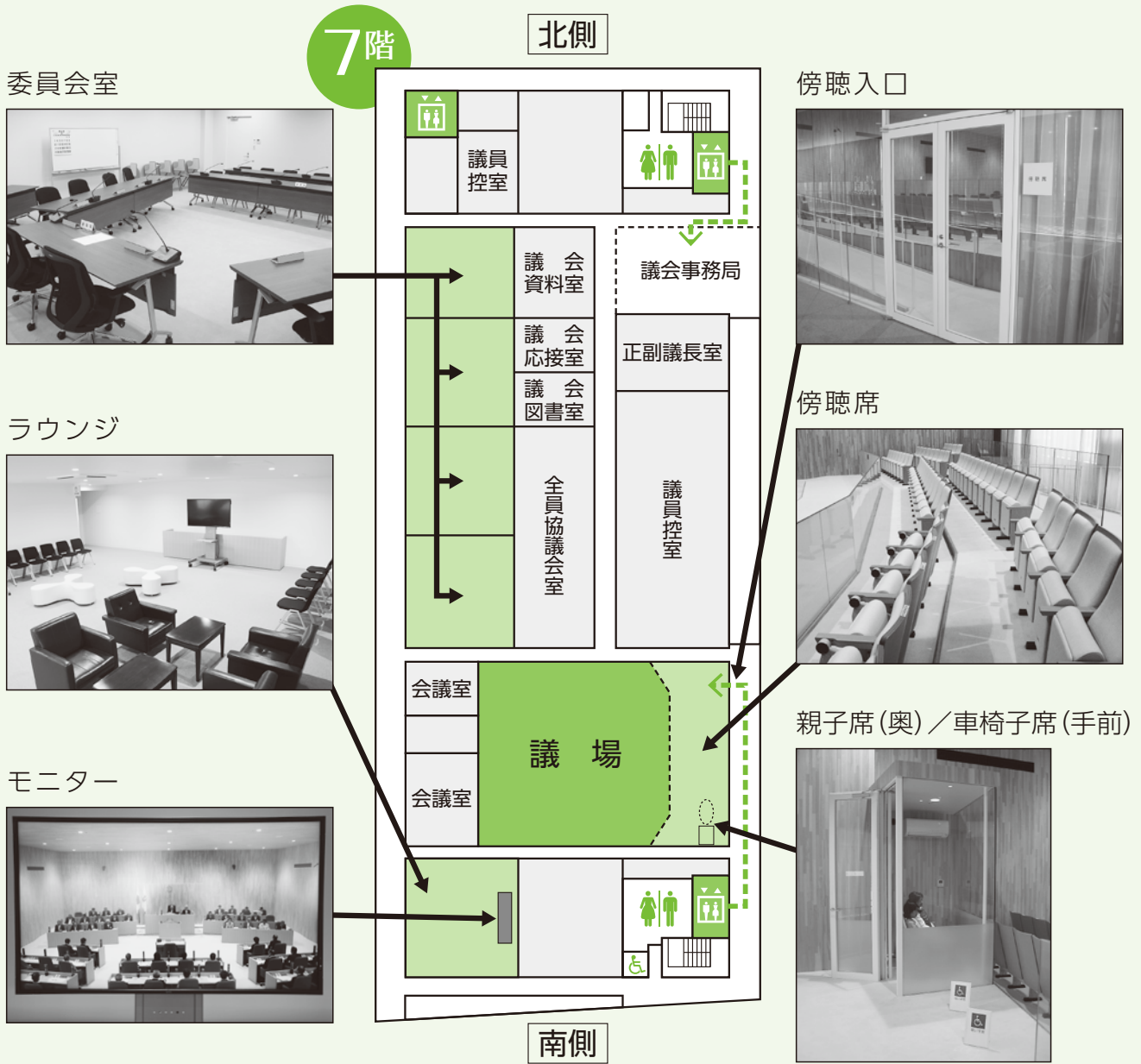
今回の対象は、昭和20年代に、当時の多賀郡多賀町が関東森林管理局と結んだ契約に基づくもので、大久保町にある戸沢山国有林（約24ヘクタール）のスギ・ヒノキを伐採するものである。

本市では、今回の部分林のほか、小木津山や、滑川山など10ヶ所以上の部分林契約を結んでいるが、平成39年度頃までに、順次伐採時期を迎えることとなっており、その時点の市場価格で算出される販売代金が収入として見込まれる。

今回は、財政調整基金に積み立てるが、部分林の立木売却による収入の用途については、その経緯を十分に踏まえて検討する必要があると考えている。



# 新しい議場で議会を傍聴しませんか



## 9月定例会の一般質問で満席となった傍聴席



- 議場には、傍聴席が65席（うち親子席3席、車椅子席2席）あります。
- 本会議はどなたでも傍聴することができますので、ぜひお越しください。
- 本会議開催日は、議場の南側にあるラウンジでもモニターを通じて会議の様子をご覧いただけます。
- 委員会の傍聴については、議会事務局にお問い合わせください。

【問い合わせ先】  
**議会事務局 ☎0294-22-3111**  
 (内線371、372)

※日程は都合により変更になる場合があります。

20日 (水)	19日 (火)	18日 (月)	15日 (金)	14日 (木)	13日 (水)	12日 (火)	11日 (月)	7日 (木)
閉会	議会運営委員会 特別委員会	幹線道路整備促進 特別委員会	常任委員会	常任委員会	議案質疑	一般質問	議会運営委員会 一般質問	開会

次回12月定例会の予定

## 傍聴者の声

### 市議会定例会を 傍聴して



中成沢町  
瀬谷 利光

9月11日に、新庁舎においての最初の議会である第3回定例会を傍聴しました。高齢者などに配慮された傍聴席や優しい雰囲気議場の様子などから、日立市の将来に明るい光を感じました。

議員からは社会問題について様々な質問があり、それに対して執行部が分かりやすい丁寧な答弁をしていたのが印象に残りました。その中でも、市民運動公園周辺の設備と今後のまちづくりにおける課題といった内容については、個人的にとっても関心があり、大変勉強になりました。

日立市議会には、子供や孫の世代に「日立市に住んで良かった」と言ってもらえるような、市民に優しいまちづくりを期待しています。

## 議会日誌

(7月~9月)

7月

3日：議会報編集委員会  
13~14日：茨城県市議会議長会  
27日：議会運営委員会

8月

22日：新庁舎建設特別委員会  
24日：総務産業委員会、教育福祉委員会、  
環境建設委員会  
31日：議会運営委員会

9月

4日：議会運営委員会  
7日：第3回市議会定例会開会  
(議案説明、表決)  
8日：議会運営委員会  
11日：本会議(議案説明、一般質問)、  
議会運営委員会

9月

12日：本会議(一般質問)  
13日：本会議(議案質疑、委員会付託)、  
決算審査特別委員会、  
議会報編集委員会  
14日：総務産業委員会、教育福祉委員会、  
環境建設委員会  
19~22日：決算審査特別委員会  
25日：幹線道路整備促進特別委員会  
26日：新庁舎建設特別委員会  
27日：決算審査特別委員会  
28日：議会運営委員会  
29日：第3回市議会定例会閉会  
(各委員長報告、討論、表決)

## 議会中継のご案内

12月定例会中に行われる一般質問【11日(月)・12日(火)】の生中継を予定しています。



ケーブル  
テレビ

JWAY (11ch) で  
生中継



FMラジオ

FMひたち  
(82.2MHz) で  
生中継



ホームページ

インターネット生中継と録画放送

※録画放送は、会議の日の約1週間後から視聴できます。

日立市議会

検索

※本会議の会議録は、ホームページのほか、市役所内情報センター、市立図書館でご覧いただけます。なお、今定例会の会議録は、11月下旬に発行する予定です。